

# ラック形音響装置

WL-7100  
品番 WL-7600

## 取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



WL-7100



WL-7600

## 特長

- 中規模から大規模建築物に適し、多様な環境に対応する業務放送用設備です。
- 局数、スピーカ回線は最大80まで増設できます。
- 非常放送設備の非常外部制御出力に接続すれば、非常時に本装置に接続されたスピーカの音声を止め、非常放送を優先することができます。
- 停電時に、蓄電池バックアップによりシステムを起動することができます。
- リモコンリレーユニットWU-R31やBGM放送モード選択ユニットWU-R35を使用することにより、起動入力によって第1位～第4位の優先順位を設定することができます。
- ダイオードマトリクスボードWU-Z50を使用すれば、放送したい場所のスピーカ回線をブロックにまとめることができます。(WU-R31またはWU-R35が必要です。)
- BGM放送モード選択ユニットWU-R35により、BGM放送中にスピーカ回線ごとの呼び出し放送を行うことも可能です。(WU-R35、BGM演奏装置などが必要です。)

このたびは、パナソニック ラック形音響装置をお買い上げいただきまして、  
まことにありがとうございました。

# 目次




---

安全上のご注意	3
各部の名称と働き	
■スタンダードラック形音響装置 WL-7100	6
ロングラック形音響装置 WL-7600	
■関連ユニット(別売品)	7
■スピーカー選択ユニット WK-420	8
増設用スピーカー選択ユニット WK-430	
■モニタユニット WU-M20	9
■ミキサーユニット WU-M60A	10
■単局リモコンマイク WR-101	11
■リモコンマイク WR-105、WR-110	11
放送のしかた	
■ミキサーユニット WU-M60Aからの放送	12
■単局リモコンマイク WR-101からの放送	14
■リモコンマイク WR-105、WR-110からの放送	16
■BGM放送モードについて	18
■優先順位について	20
■応用システムでの放送例	21
停電時の放送のしかた	22
非常用放送設備との接続	22
非常電源ユニットの点検	23
保証とアフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 危険

### 蓄電池に強い衝撃を与えない



禁止

ハンマーなどでたたいたり、釘などを打ち込まないでください。発火・破裂の原因となります。

### 蓄電池を分解しない



分解禁止

電池内部の液が飛び出し、目に入ると失明の原因となります。

### 蓄電池の⊕ ⊖ 端子をショートさせない。



禁止

発熱・発火の原因となります。

### 蓄電池を火の中に入れない



禁止

火気にも近づけないでください。発火・破裂の原因となります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 警告

### 工事は販売店に 依頼する



工事には技術と  
経験が必要です。  
火災、感電、け  
が、器物損壊の  
原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 分解しない、 改造しない



火災や感電の原  
因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡  
ください。

### 異物を入れない



水や金属が内部  
に入ると、火災  
や感電の原因と  
なります。

禁止

- ただちに分電盤の電源を切っ  
て、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがす  
る、水や異物が入  
った、落として破損し  
たなど、火災の原因  
となります。

- ただちに分電盤の電源を切っ  
て、販売店にご連絡ください。

### 重量に耐える 取り付けをする



取付の場所や方法  
が不適切な場合、  
落下（や転倒）な  
どでけがの原因と  
なります。

- 販売店に依頼してください。

### 決められたヒューズ を使う。



規定以外のヒュー  
ズを使うと、火災  
の原因となります。

### 電源コードを熱器具およ び発熱物に近づけない。



禁止

コードの被覆が  
溶けて、火災や  
感電の原因とな  
ります。

### 電源コードは、必ず プラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、  
火災や感電の原  
因となります。

- 抜くときは電源プラグを持っ  
て抜いてください。

### 濡れた手で電源プラグ を抜き差ししない



禁止

感電の原因とな  
ります。

### 電源コードを 傷つけない



禁止

重いものをのせたり、はさんだりす  
るとコードが傷つ  
き、火災や感電の  
原因となります。

- 修理は販売店にご連絡ください。

## ⚠ 注意

### 蓄電池の交換は、販売店 か保守契約店に依頼する



感電の原因となり  
ます。

## お願い

#### ■ 日常点検をしてください。

万一の際、正常に機器が動作するよう日常点検を行ってください。特に非常電源の点検は必ず行ってください。  
(点検方法は「非常電源ユニットの点検」の項をごらんください。)

#### ■ 日常点検時に異常を発見した場合は、ただちに販売店または保守契約店にご連絡ください。修理・復旧を実費で行います。くわしくは販売店にご相談ください。

#### ■ 非常電源ユニットを組み込んだシステムは、常に蓄電池を充電していますので分電盤などのスイッチは切らないでください。

#### ■ ラックの上や周囲には物を置かないでください。

操作の妨げにならぬようラックの周囲1 m以内には物を置かないでください。またラックの通風口や後面はふさがないでください。

#### ■ 停電時に放送する場合は、別売の非常電源ユニット(WP-570B)、蓄電池が必要です。

(くわしくは工事説明書<応用システム編>をごらんください。)

#### ■ 蓄電池の交換について

- ・蓄電池は停電放送されなくても寿命があります。

点検の際、容量不足があれば、全数新品と交換してください。

- ・不要になったニッケル・カドミウム蓄電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでニッケル・カドミウム蓄電池のリサイクルにご協力ください。

#### ■ お手入れは

乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。



Ni-Cd

#### お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

# 各部の名称と働き

## ■スタンダードラック形音響装置WL-7100 ロングラック形音響装置WL-7600

### ①モニターユニット WU-M20

電力増幅ユニットの出力をモニタするユニットです。

4系統までモニタできます。

### ②ミキサーユニット WU-M60A

マイク、ラジオ、レコード、テープレコーダなどをつなぐことのできるユニットで、それらを使った業務放送を行います。

### ③スピーカ選択ユニット WK-420

全館一斉または個別に各フロアに業務放送を行います。

### ④マイクロホン WU-Z19 [別売品]

スイッチを押しながら話すと放送できます。

### ⑤電源制御ユニット WU-L62

本体に電源を供給・制御するためのユニットです。

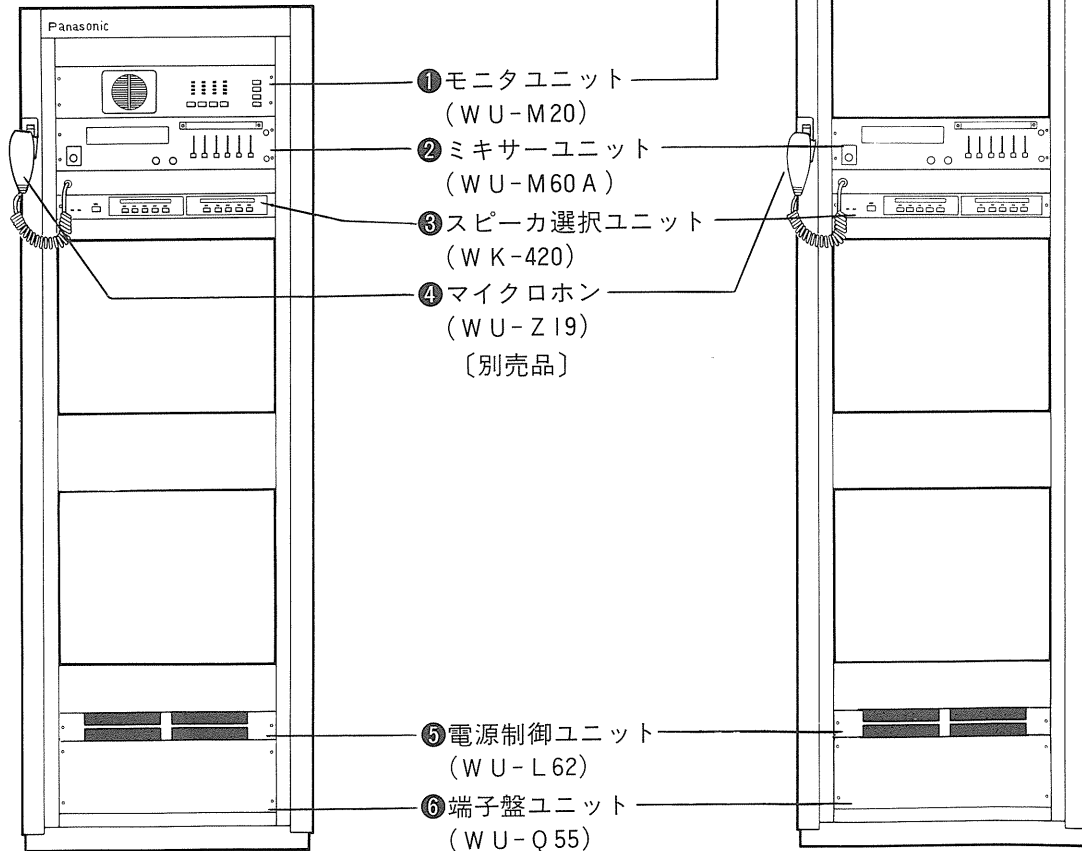
### ⑥端子盤ユニット WU-Q55

スピーカ回線、リモコンマイクやその他の周辺機器を接続するためのユニットです。

・ロングラック形  
(WL-7600)

※図はWL-7100/7600の標準システムです。

・スタンダードラック形  
(WL-7100)



## ■関連ユニット(別売品)

### ●電力増幅ユニット(WU-P51、WU-P52、WU-P53)

AC/DC兼用の電力増幅ユニットです。



WU-P51  
(60W用)

WU-P52  
(120W用)

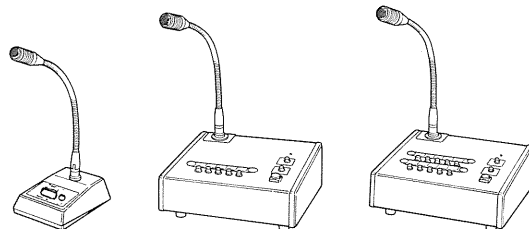
WU-P53  
(360W用)

### ●リモコンマイク(WR-101、WR-105、WR-110)

遠隔放送をするためのリモコンです。

単局用(WR-101)、5局用(WR-105)、10局用(WR-110)があります。

※WR-105、WR-110をご使用の場合は、リモコンリレーユニットWU-R31(別売品)、またはBGM放送モード選択ユニットWU-R35(別売品)が必要です。



リモコンマイク(単局用)

リモコンマイク(5局用)

リモコンマイク(10局用)

WR-101

WR-105

WR-110

### ●リモコンリレーユニット(WU-R31)

遠隔放送、優先順位の設定を行うときに必要なユニットです。



### ●BGM放送モード選択ユニット(WU-R35)

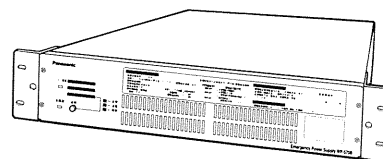
BGM放送中にスピーカ回線ごとの呼び出し放送を行うためのユニットです。



### ●非常電源ユニット(WP-570B)

蓄電池を内蔵し、停電時に放送を行うときの電源を供給します。

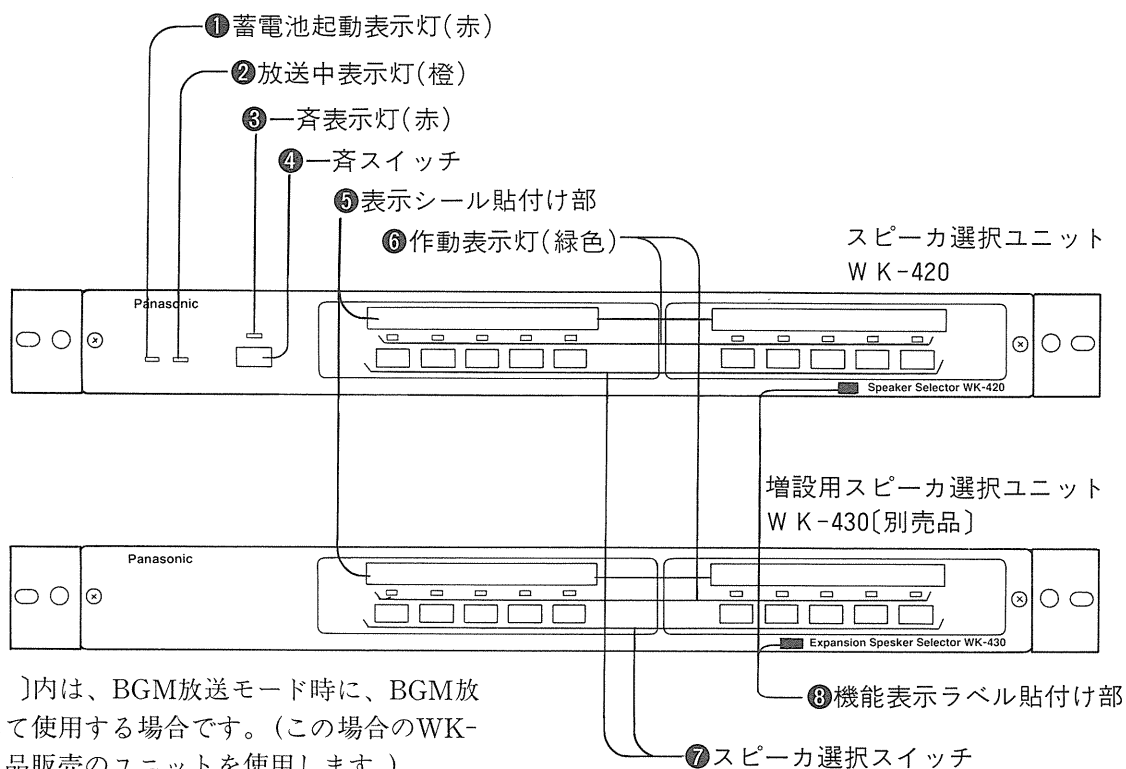
※点検・蓄電池の交換が必要です。23ページをご参照ください。



# 各部の名称と働き

## ■スピーカ選択ユニット WK-420

### 増設用スピーカ選択ユニット WK-430(別売品)



[ ]内は、BGM放送モード時に、BGM放送用として使用する場合があります。(この場合のWK-420は、単品販売のユニットを使用します。)

#### ①蓄電池起動表示灯

停電時に蓄電池で起動しているときに点灯します。

[ 停電時に蓄電池で起動していても点灯しません。 ]

#### ②放送中表示灯

現在放送している装置(本体、リモコンマイク、外部制御)がある場合に点灯します。

[ スピーカ選択スイッチを押すことにより、点灯します。業務放送を選択して、BGM放送が中断されても消灯しません。 ]

#### ③一斉表示灯

一斉スイッチ〔BGM一斉スイッチ〕を押すと点灯します。

#### ④一斉放送スイッチ

- ・一斉で業務放送するときには押します。
- ・再度押すことで、一斉スイッチを押す前に選択されていた回線を除いて復旧します。
- ・アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のときは、アッテネータが「OFF」のときでも放送することができます。(ただし、3線式配線の場合)

- ・一斉でBGM放送を行うときに押します。
- ・再度押すことで、BGM一斉スイッチを押す前に選択されていたスピーカ回線を除いて復旧します。
- ・アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のときは、アッテネータが「OFF」のときに放送することはできません。

#### ⑤表示シール貼付け部

放送系統・放送場所などを記入した表示シールを貼り付けます。

#### ⑥作動表示灯

- ・スピーカ選択スイッチを押すと、その作動表示灯が点灯します。ただし、スピーカ選択ユニットより優先順位が高い装置(リモコンマイク、外部制御)が起動している場合は点灯しません。
- ・一斉スイッチを押すと、すべての作動表示灯が点灯します。

- ・スピーカ選択スイッチを押すと、その作動表示灯が点灯します。
- ・BGM一斉スイッチを押すと、すべての作動表示灯が点灯します。



### ⑦スピーカー選択スイッチ

- ・業務放送したいブロック(部屋、エリア)またはスピーカー回線を選択するときに押します。
- ・再度押すことにより復旧します。

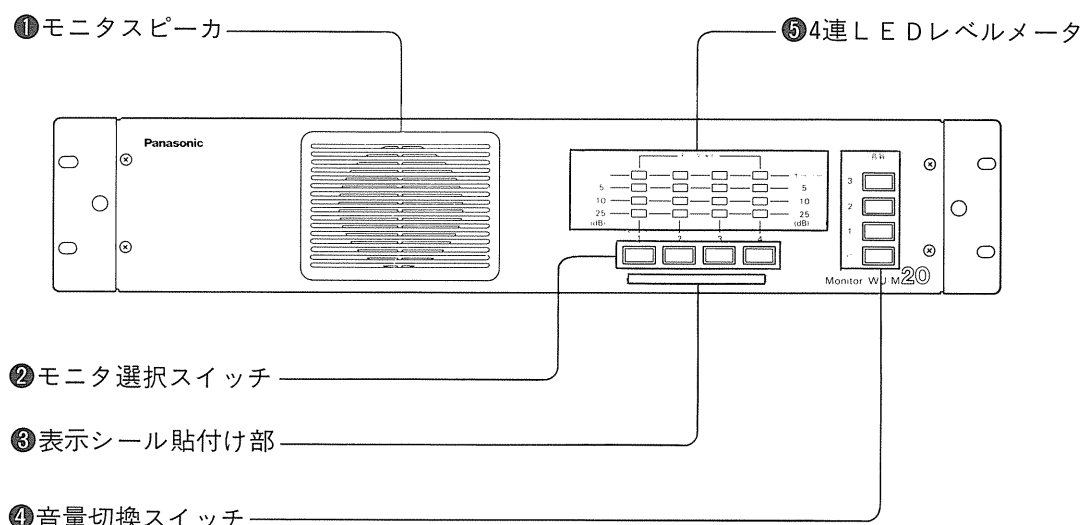
- ・BGM放送をしたいブロック(部屋、エリア)またはスピーカー回線を選択するときに押します。
- ・再度押すことにより復旧します。
- ・選択したブロック、スピーカー回線で業務放送を行っているときは、BGM放送はできません。

### ⑧機能表示ラベル貼付け部

Z50 ……ダイオードマトリクスボード WU-Z50を収納しているWK-420、WK-430に貼ります。

BGM ……BGM放送モード時に、WK-430をBGM放送選択ユニットとして使用するとき貼ります。  
WK-420(別売品)は貼付済です。

## ■ モニタユニット WU-M20



### ①モニタスピーカ

選択した系統の音声を出力するスピーカです。

### ②モニタ選択スイッチ

モニタスピーカから出力する音声を選択します。同時に2つ以上スイッチを押した場合、押されたスイッチの中の一番数字の小さい系統の音声を出力します。

### ③表示シール貼付け部

パワーアンプの出力系統などを記入したシールを貼り付ける位置です。

### ④音量切換スイッチ

モニタスピーカから出力される音量を切り換えます。数字の大きいスイッチほど音量が大きく、数字が小さくなるにつれ音量も小さくなります。「切」のスイッチは解除スイッチになっており、音が出なくなります。同時に2つ以上スイッチが押された場合は、音量の小さいスイッチが有効になります。

### ⑤4連LEDレベルメータ

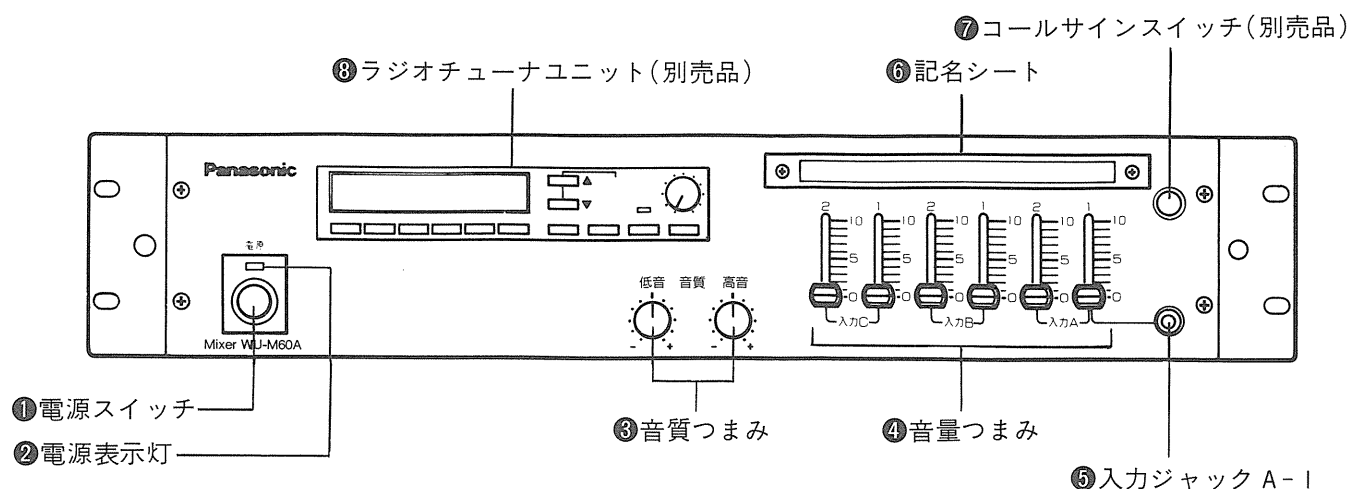
4系統のPAの出力が、4連LEDでそれぞれ

-25dB	緑
-10dB	緑
-5dB	緑
オーバー	赤

のレベルで点灯します。

# 各部の名称と働き

## ■ミキサーユニット WU-M60A



### ①電源スイッチ〔電源〕

### ②電源表示灯

スイッチを押すと、システム全体の電源が入り、表示灯が点灯します。

ミキサーユニット単独の電源入／切はできません。

### ③音質つまみ〔音質、低音／高音〕

音質（低音や高音）を調節するつまみです。

つまみを右方向（+）へ回すと強調され、左方向（-）へ回すと弱くなります。お好みの音質に調節してください。

### ④音量つまみ〔入力A-1/A-2/B-1/B-2/C-1/C-2〕

スピーカから流れる音量を調節します。「0」で最小、「10」で最大になります。接続される機器によって異なりますが、通常7～8目盛でお使いください。

### ⑤入力ジャックA-1

マイクを前面で使用するときには接続します。後面のジャックより優先します。

マイクがミニプラグの場合は、市販の変換プラグ（単頭←ミニ）を使用してください。

### ⑥記名シート

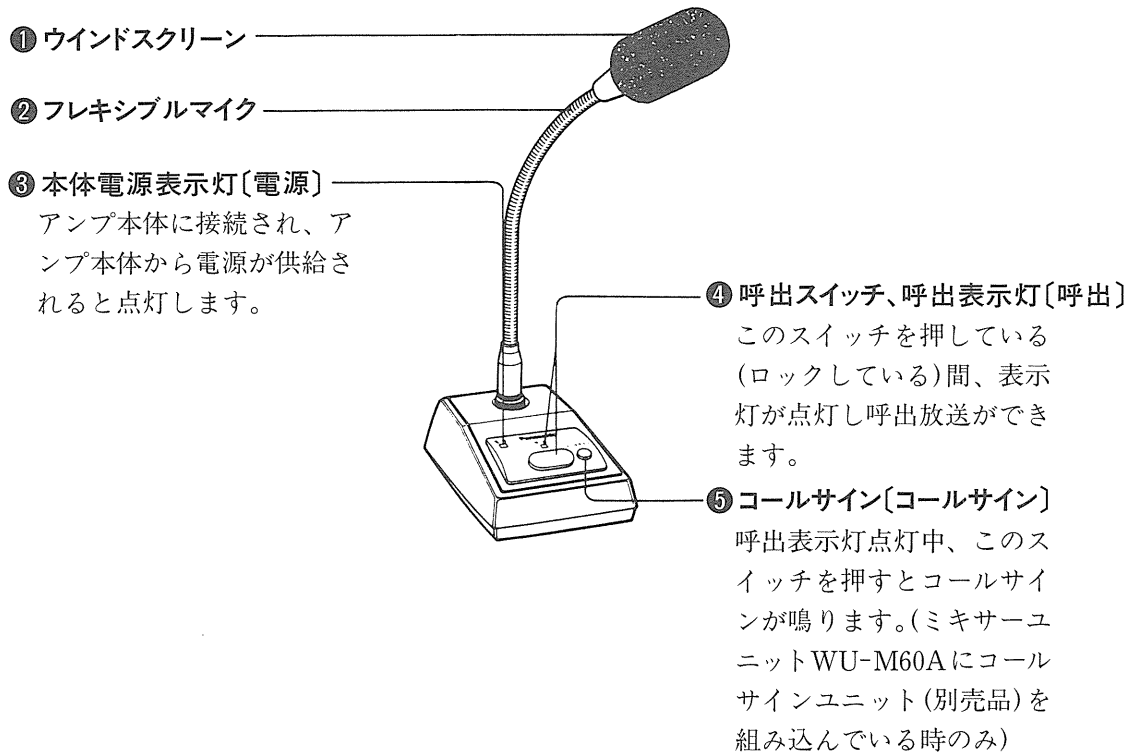
音量つまみで調節する機器の名称を記入します。

### ⑦コールサインスイッチ(別売品)

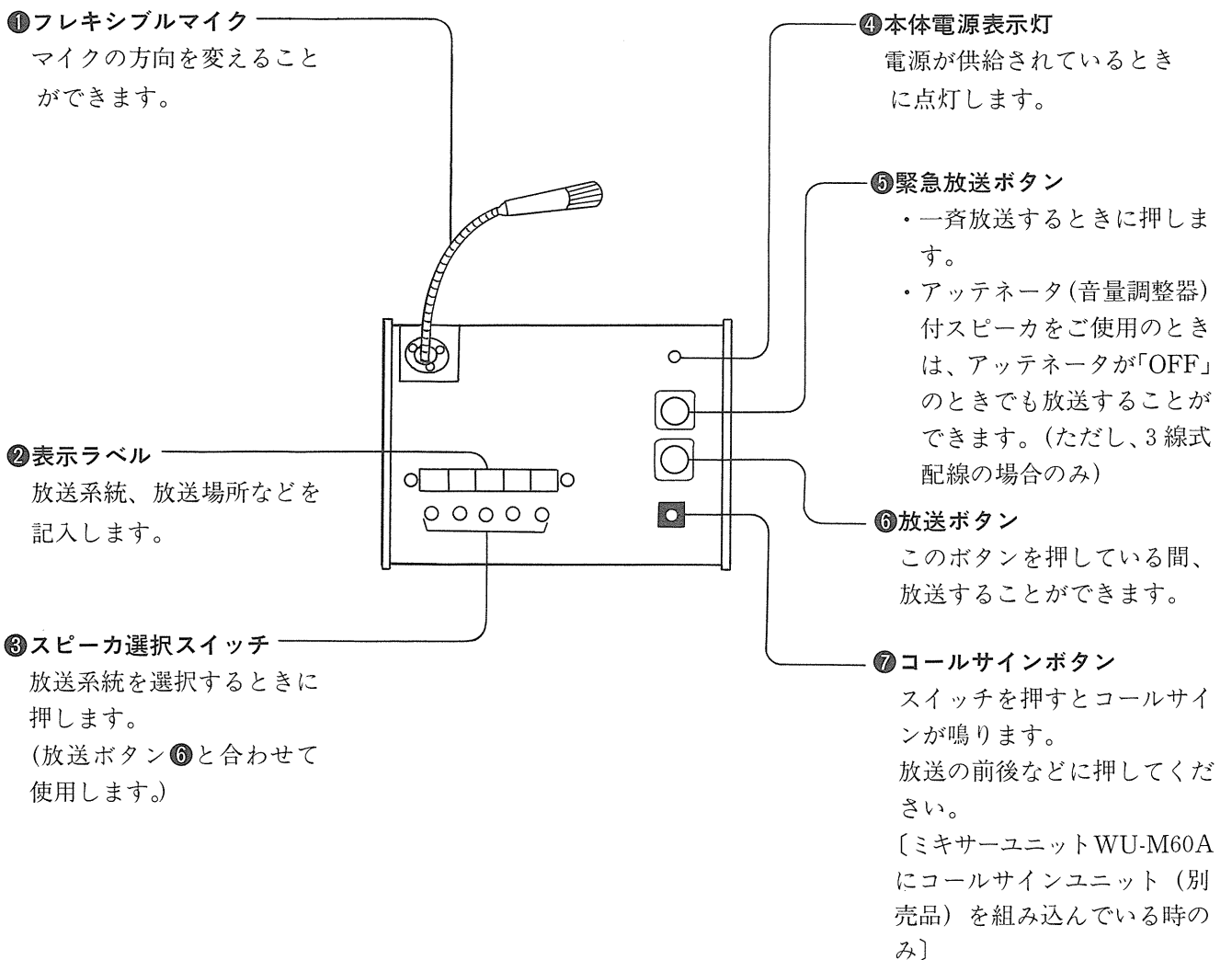
コールサインユニット（別売品）を組み込み、スイッチを押すとコールサインが鳴ります。放送の前後に押してください。

### ⑧ラジオチューナユニット(別売品)

## ■単局リモコンマイク WR-101(別売品)



## ■リモコンマイク WR-105、WR-110(別売品)

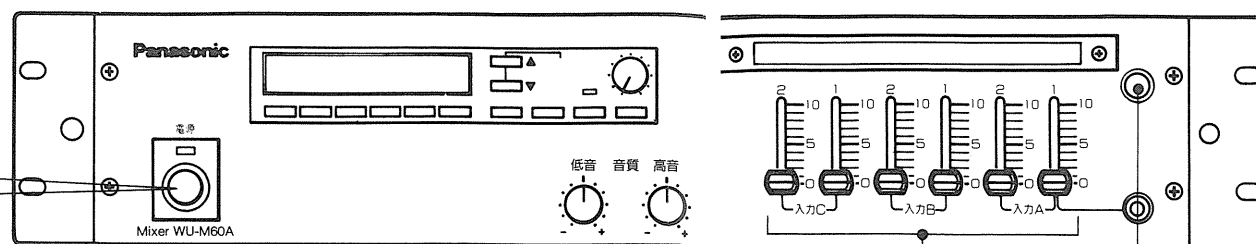


# 放送のしかた

本システムでは案内やBGMなどをリモコンマイク、ミキサーユニットから放送することができます。

## ■ミキサーユニットからの放送

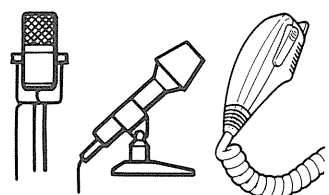
操作の前には「電源スイッチ」を「入」にしてください。  
また放送終了後は「切」にしてください。



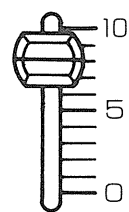
ご注意

- 外部制御、リモコンマイクに接続してある場合は、その音量つまみは適当な音量のところに固定しておいてください。
- 使用しない音量つまみは「0」にしておいてください。

マイクロホンで放送するとき

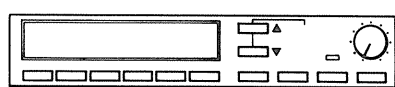


マイクの音量つまみを調節します。



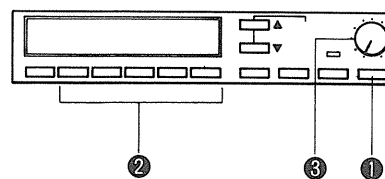
※音量つまみの目盛は7か8が目安ですが必要に応じて設定してください。

ラジオを放送するとき

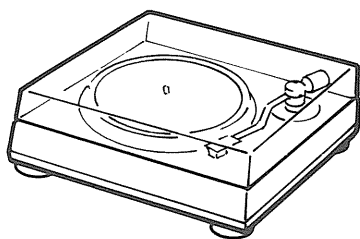


ラジオチューナユニット (WU-T60)

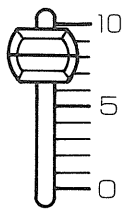
- ①電源スイッチを入れ、
- ②希望の局を選局し、
- ③音量つまみを7～8に合わせます。



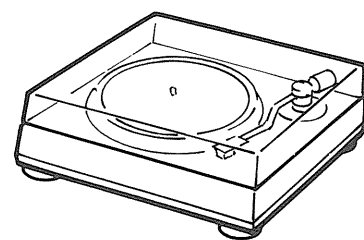
レコードを放送するとき



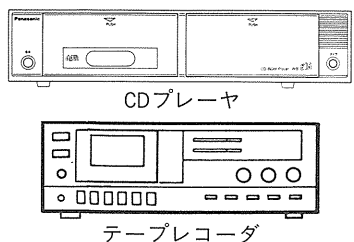
レコードの音量つまみ (入力C-2) を調節します。



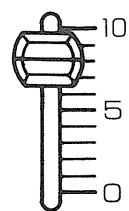
- ①スピードを合わせ、
  - ②トーンアームをのせます。
- 〔操作方法については、お手持ちのレコードプレーヤの取扱説明書をお読みください。〕



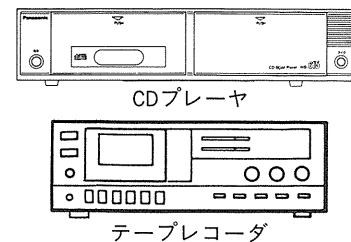
CDプレーヤ、テープレコーダを放送するとき



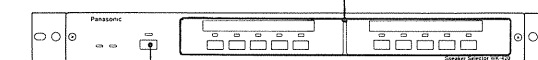
CDプレーヤ、テープレコーダの音量つまみを調節します。



- CD、テープをセットし、再生ボタン(▶)を押します。
- 〔操作方法については、お手持ちのCDプレーヤ、テープレコーダの取扱説明書をお読みください。〕



放送する系統のスピーカ選択スイッチを押してください。



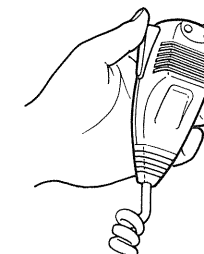
一斉放送するときには、一斉スイッチを押してください。  
〔アッテネータ(音量調整器)付スピーカをご使用のとき、アッテネータ(音量調整器)がOFFの状態でも放送できます。〕

放送中表示灯が点灯します。

- マイクのスイッチを押し放送します。(マイクによってはスイッチのないものもあります。)

ご注意

マイク放送をするときには、ハウリングを起こす可能性がありますので、モニタユニットWU-M20の音量切換スイッチで音量を絞るか「切」にしてください。



- 放送の前後にコールサインボタンを押してください。〔コールサインユニット(別売品)が必要です。〕

コールサイン

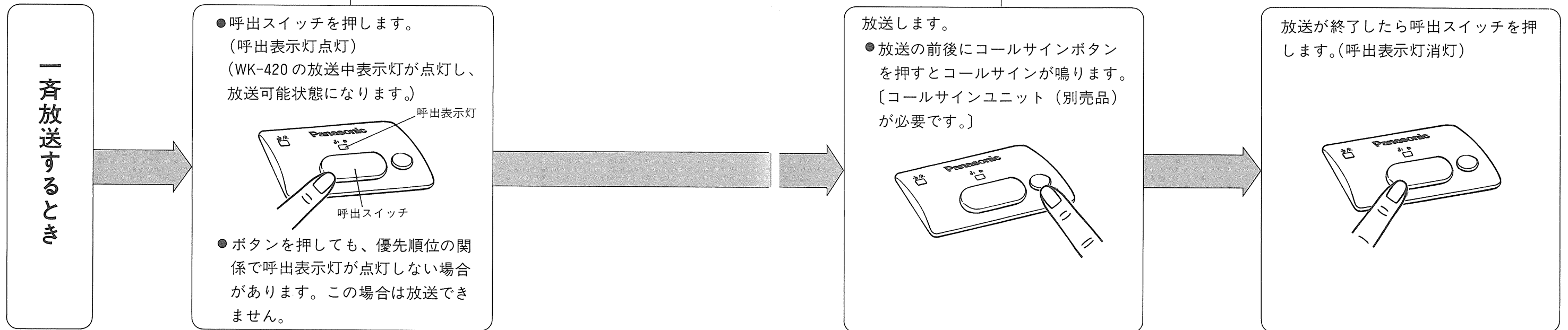
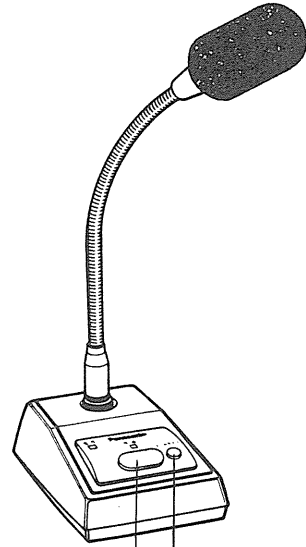


- 放送が終了したら選択していたスイッチを再度押してください。

放送されます。

# 放送のしかた

## ■単局リモコンマイク(WR-101)からの放送

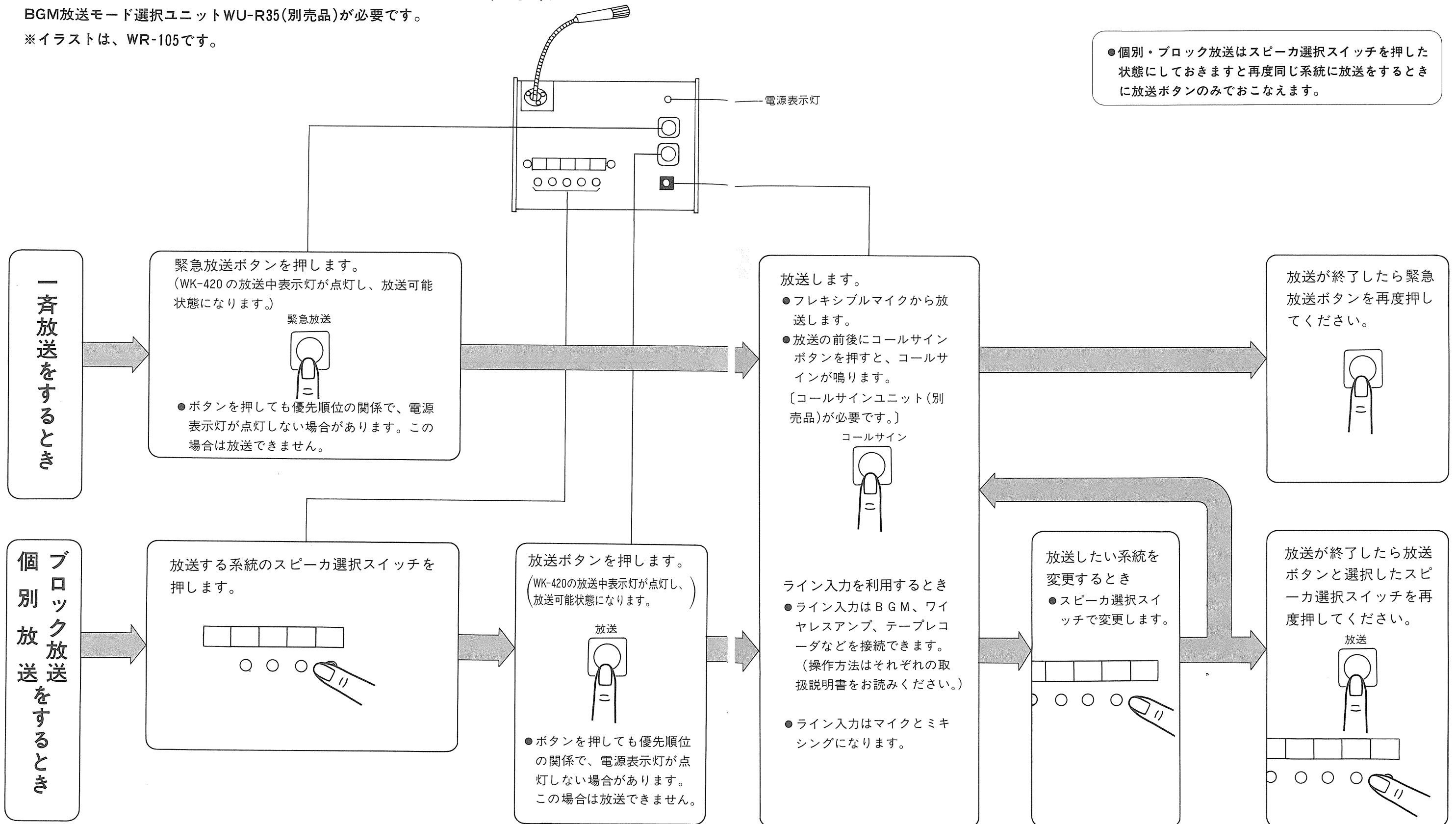


# 放送のしかた

## ■リモコンマイク(WR-105/WR-110)からの放送

WR-105、WR-110を使用する場合はリモコンリレーユニットWU-R31(別売品)、BGM放送モード選択ユニットWU-R35(別売品)が必要です。

※イラストは、WR-105です。



●個別・ブロック放送はスピーカ選択スイッチを押した状態にしておきますと再度同じ系統に放送をするときに放送ボタンのみでおこなえます。

# 放送のしかた

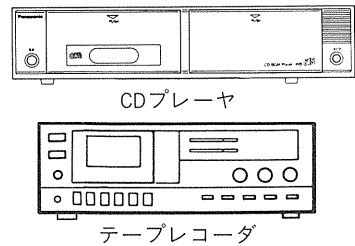
## ■BGM放送モードについて

BGM放送モード選択ユニットWU-R35(別売品)を使用すると、ビル全体にBGMを流しているときに、ある特定のスピーカ回線に呼び出し放送などの業務放送を行うことができます。

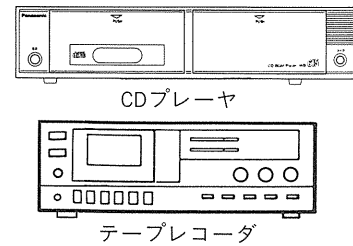
### ご注意

- BGM放送モード時にはBGM放送専用の電力増幅ユニットや電源制御ユニット、BGM演奏装置などが必要で、あらかじめ工事しておく必要があります。
- BGM放送(一斉放送を含む)は、アッテネータ(音量調整器)がOFFのときには放送できません。
- BGM放送と業務放送では業務放送が優先して放送されます。

CDプレーヤ、テープレコーダからBGM放送を行うとき。

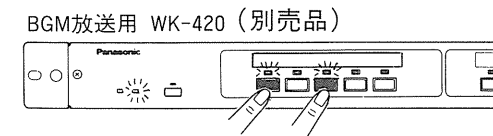


BGM演奏装置の音量を調節し、BGM演奏装置を再生状態にします。



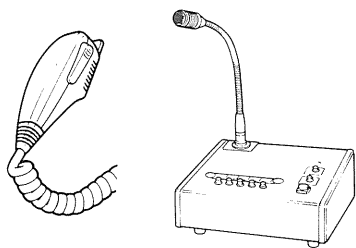
(操作方法については、お手持ちのCDプレーヤ、テープレコーダの取扱説明書をお読みください。)

- BGMを放送する系統のスピーカ選択スイッチを押します。
- BGMを一斉放送するときは、一斉スイッチを押します。  
(BGM放送は、アッテネータ(音量調整器)が「OFF」のときには放送できません。)

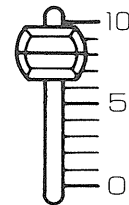


スピーカ選択スイッチにより選択したスピーカ回線にBGM放送ができます。

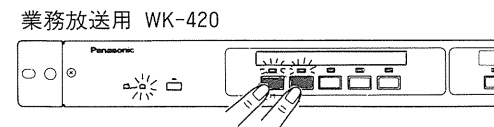
マイクロホン、リモコンマイクなどから業務放送を行うとき。



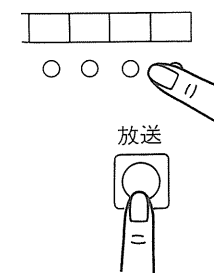
ミキサーユニットの音量つまみを調節します。



- (増設用)スピーカ選択ユニットから放送するとき。  
①放送する系統のスピーカ選択スイッチを押します。一斉放送するときは、一斉スイッチを押します。  
②放送します。



- リモコンマイクから放送するとき。  
①放送する系統のスピーカ選択スイッチを押します。  
②放送ボタンを押します。  
③放送します。



- BGM放送と業務放送の両方をスピーカ選択スイッチにより選択した場合、業務放送が優先されます。
- BGM放送を選択していて、業務放送を選択していない場合は、BGMが放送できます。  
(例) BGM放送選択用WK-420でSW1, SW3を選択し、業務放送選択用WK-420でSW1, SW2を選択した場合は、SW1, SW2のスピーカ回線は業務放送、SW3はBGM放送になります。

(増設用)スピーカ選択ユニット・リモコンマイクのスピーカ選択スイッチにより、選択したスピーカ回線に業務放送ができます。

# 放送のしかた

## ■優先順位について

●放送時には、次のような優先順位となります。そのため優先放送中のときは、優先順位の低い放送は放送されません。

### ●標準システムでの優先順位

#### 優先順位一覧

起動入力	優先順位	第1位	第2位
一斉外部制御		○	—
スピーカ選択ユニット WK-420/430		—	○

●標準システムとは、リモコンリレーユニットWU-R31、BGM放送モード選択ユニットWU-R35を使用しないシステムのことです。このシステムでの優先順位は固定です。

### ●応用システムでの優先順位

#### 設定可能優先順位

起動入力	優先順位	(注1) 第1位	(注3) 第2位	第3位	第4位
(増設用)スピーカ選択ユニット		—	△	○	—
リモコンマイク	(注2)	△	△	○	○
外部制御		—	△	○	○
一斉外部制御		○	—	—	—

●応用システムとは、リモコンリレーユニットWU-R31、BGM放送モード選択ユニットWU-R35を使用しているシステムのことです。このシステムでは、第1位から第4位まで優先順位を設定することができます。

●優先順位が同じものは、それぞれの起動の音声入力のみキシングされます。

●リモコンマイク間で、異なる優先順位の設定はできません。

(注1) 優先順位第1位は、一斉放送しか行うことができません。この場合の一斉放送は、アッテネータ(音量調整器)が「OFF」のときでも放送されます。(3線式配線の場合のみ)

(注2) リモコンマイクWR-101を一斉放送用として使用する場合のみ可能です。

(注3) 優先順位第2位の音声は、第1位の音声とミキシングされます。



## ■ 応用システムでの放送例

リモコンリレーユニットWU-R31を使用して、優先順位を第1位 チャイム放送(一斉外部制御)、第2位 スピーカ選択ユニットからの放送、第3位 リモコンマイクからの放送、第4位 BGM放送(外部制御)としたときの動作例です。

スピーカの放送内容 起動入力	BGM放送 (外部制御)	リモコンマイク1からの放送	スピーカ選択ユニットからの放送	リモコンマイク1からの放送	リモコンマイク1、リモコンマイク2からの放送(ミキシング)	スピーカ選択ユニットからの放送	リモコンマイク1からの放送	チャイム放送	BGM放送 (外部制御)
BGM放送 (外部制御) (優先順位第4位)	起動 放送中								放送中
リモコンマイク1からの放送 (優先順位第3位)		起動 放送中		放送中	放送中	放送中	放送中	復旧	
スピーカ選択ユニットからの放送 (優先順位第2位)			起動 放送中 復旧						
リモコンマイク2からの放送 (優先順位第3位)					起動 放送中 復旧				
スピーカ選択ユニットからの放送 (優先順位第2位)						起動 放送中 復旧			
チャイム放送 (一斉外部制御) (優先順位第1位)								起動 放送中 復旧	

■ の箇所が、スピーカより放送されています。

# 停電時の放送のしかた

停電時に、蓄電池バックアップによりシステムを起動することができます。

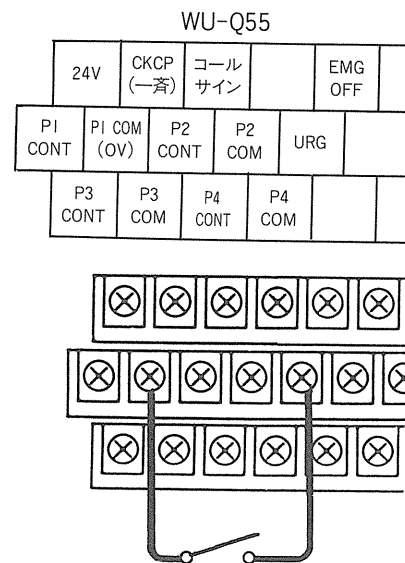
## ご注意

- 停電時に放送する場合は、あらかじめ工事しておく必要があります。
- 別売の非常電源ユニット(WP-570B)、蓄電池が必要です。  
(くわしくは工事説明書<応用システム編>をごらんください。)
- 蓄電池バックアップは10分間可能です。

## ● 停電時のシステム起動方法

本機の端子盤ユニットWU-Q55のURG端子、P1 COM(OV)端子間をショートすることにより起動します。

ただしA C電源が供給されているときはバッテリーでは起動しません。



蓄電池起動用スイッチ

# 非常用放送設備との接続

非常用放送設備と接続することにより、非常用放送設備で非常起動を行ったときにラック形音響装置の電源を切り非常放送を優先させることができます。

## ご注意

非常用放送設備と接続した場合は、非常時でなくても非常用放送設備の電源が切れた場合(停電、点検など)は、ラック形音響装置の電源が切れ、放送できなくなるのでご注意ください。

# 非常電源ユニットの点検

## ■点検のしかた

### ご注意

非常電源ユニット WP-570B(別売品)は、停電時に放送を行う場合にのみ必要なユニットです。

- ①主電源表示が点灯している。(AC電源の確認)
- ②点検スイッチを押す。  
充電中表示1、2が消え、非常電源表示が緑色または橙色に点灯している。(蓄電池電圧の確認)

### メモ

- 点検スイッチは10秒以上押さないください。
- 点検スイッチを押すと、充電中表示1、2が消灯します。
- ファンが故障で停止すると内部温度が異常に高くなる場合があります。内部温度が異常に高くなっているときに点検スイッチを押しても「充電中表示」は消えません。ファンを点検・修理後、内部温度が低くなってから再度操作してください。なお、点検・修理は販売店にご依頼ください。

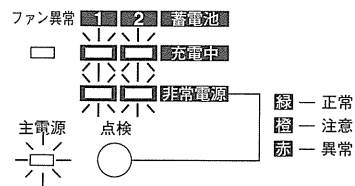
- ③充電中表示が点灯している。

### メモ

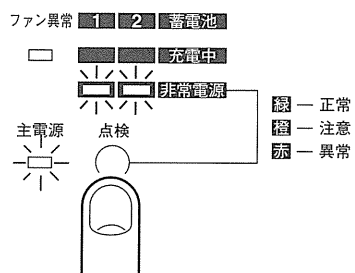
蓄電池を1個しか使用していない場合は、充電中表示は1灯しか点灯しません。これは蓄電池を接続していないため異常状態ではありません。

異常状態と間違えないよう、あらかじめ販売店に蓄電池の数をお確かめください。

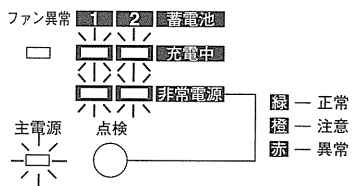
①



②



③



## ■蓄電池の交換について

- ニッケル・カドミウム蓄電池は停電放送されなくても寿命があります。
- 点検の際、容量不足があれば全数新品と交換してください。
- 交換したニッケル・カドミウム蓄電池の取り扱いにご注意ください。
- ご使用済みのニッケル・カドミウム蓄電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないでニッケル・カドミウム蓄電池のリサイクルにご協力ください。

### 注意

蓄電池の交換は、販売店  
か保守契約店に依頼する



●感電の原因となります。



Ni-Cd

# 保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

## ■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## ■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## ●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

## ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WL-7100/7600
	販売店名	☎ ( ) -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410